株式会社デジタルガレージ

2012年6月期 決算説明会

2012.8.14

Digital Garage

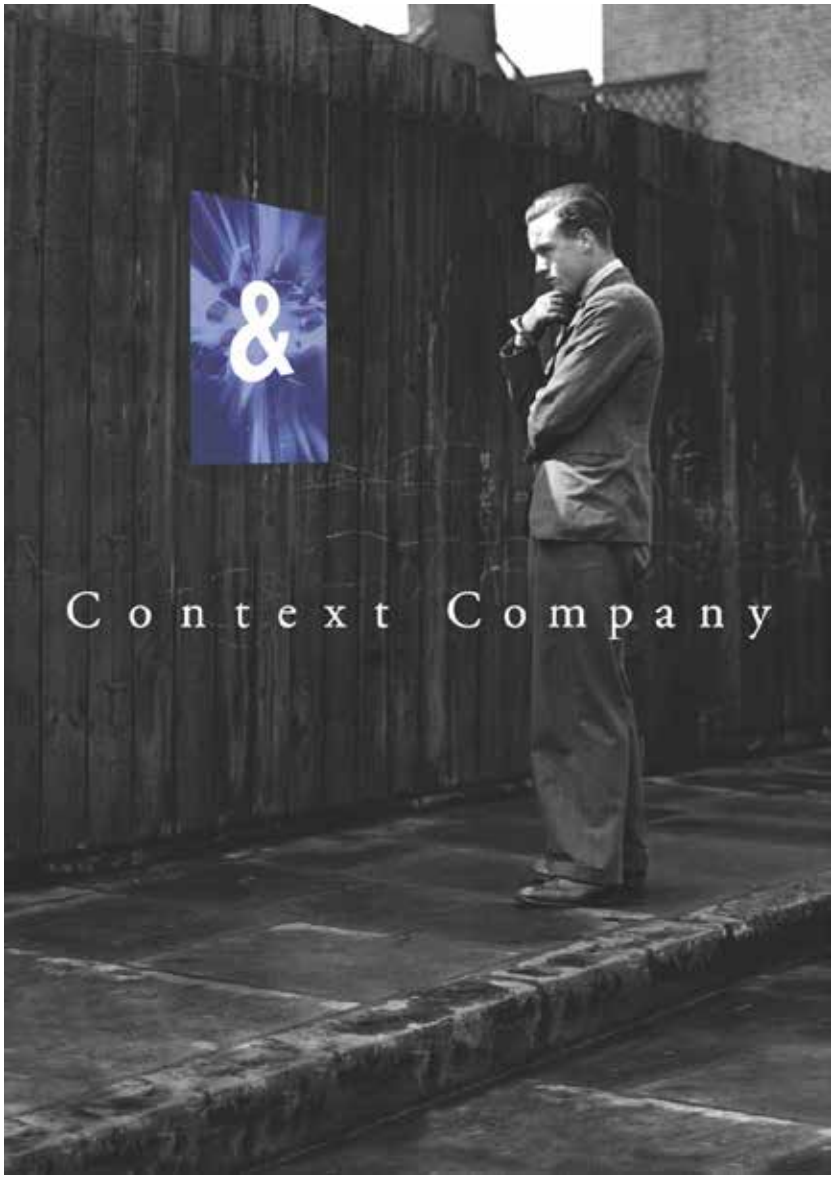
目 次

- ミッション＆ビジネスモデル ‥‥‥‥ 2
- グループ業績レビュー ‥‥‥‥ 7
- 2012年6月期 事業セグメント別レビュー ‥‥‥‥ 14
- 新中期3ヵ年計画ダイジェスト ‥‥‥‥ 30

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ミッション & ビジネスモデル

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future

を結ぶ

Context Company

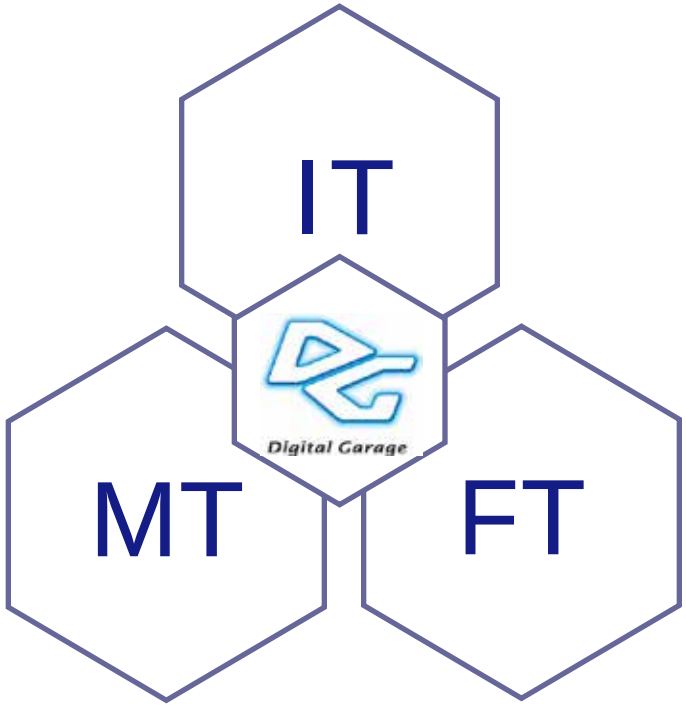
として
インターネット時代における
新しい
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

インターネットビジネスを

IT / MT / FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース / インキュベート



★ Information Technology

★ Marketing Technology

★ Financial Technology

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Enabling platformを基盤とした独自のインキュベーションモデル

context company

独自の Enabling Platformを活用し、DGはインキュベーターとして インターネット黎明期より日本で独創的なインターネットサービスを創造



広告 / プロモーション

DG&Ibex
広告 / プロモーション

CGM Marketing
ソーシャルマーケティング

ナショナルクライアント700社以上との取引
(2012.6期)

決済インフラ

e-context
veritrans
eコマース/ソーシャルコマース

日本最大級の決済インフラ完成：提携サイト数5万以上
(2012.6期)

Enabling Platform / 2つの収益基盤

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2012年6月期は、過去最高益を更新
～ 米国法人設立とベリトランス買収によるグローバルシフト ～

I 2012年6月期の計画達成と過去最高経常利益の実現

- 世界的な金融不安の中でもシリコンバレーを中心とするIT投資は活況
- 決済事業と広告事業が好調でハイブリッド・ソリューションが業績牽引

II グローバルに機能する技術（アジャイル）開発体制を構築

- 米国法人New Contextの本格稼働によるグローバル・アジャイル開発ネットワークの立ち上げ
- 技術開発のHQをサンフランシスコにシフトし、あわせてメディア・インキュベーション本部をグローバル・インキュベーション本部へと組織変更

III Enabling Platformの強化ならびにアジア展開開始

- ベリトランスのM&Aにより日本最大級の決済事業基盤を構築
- 決済事業のアジア展開に向け決済セグメントのHQを香港へとシフト

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ業績レビュー

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

売上高前期比35％増収、営業利益同12倍の16億円

カカクコム等の持分法投資利益10億円を計上し、経常利益は過去最高の27億円

（単位：百万円）

	11.6期累計（実績）	12.6期累計（期初予想）	12.6期累計（実績）	前期比（比率）	前期比（金額）
売上高	**11,067**	**13,800**	**14,903**	**+34.7 %**	**+3,836**
ベンチャー・インキュベーション	1,180	2,200	2,530	2.1 倍	+1,350
メディア・インキュベーション	634	2,000	1,310	2,1 倍	+676
ハイブリッド・ソリューション	9,252	9,600	11,063	+19.6 %	+1,811
営業利益	**135**	**1,350**	**1,621**	**12.0 倍**	**+1,486**
ベンチャー・インキュベーション	688	1,500	1,856	2.7 倍	+1,168
メディア・インキュベーション	△218	260	△158	n.a	+60
ハイブリッド・ソリューション	634	650	1,024	+61.5 %	+390
経常利益	**972**	**2,500**	**2,708**	**2.8 倍**	**+1,736**
当期純利益	**901**	**2,100**	**2,106**	**2.3 倍**	**+1,205**

※セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース
※セグメント変更考慮せず（平成24年6月期 決算短信 P.32～33参照）

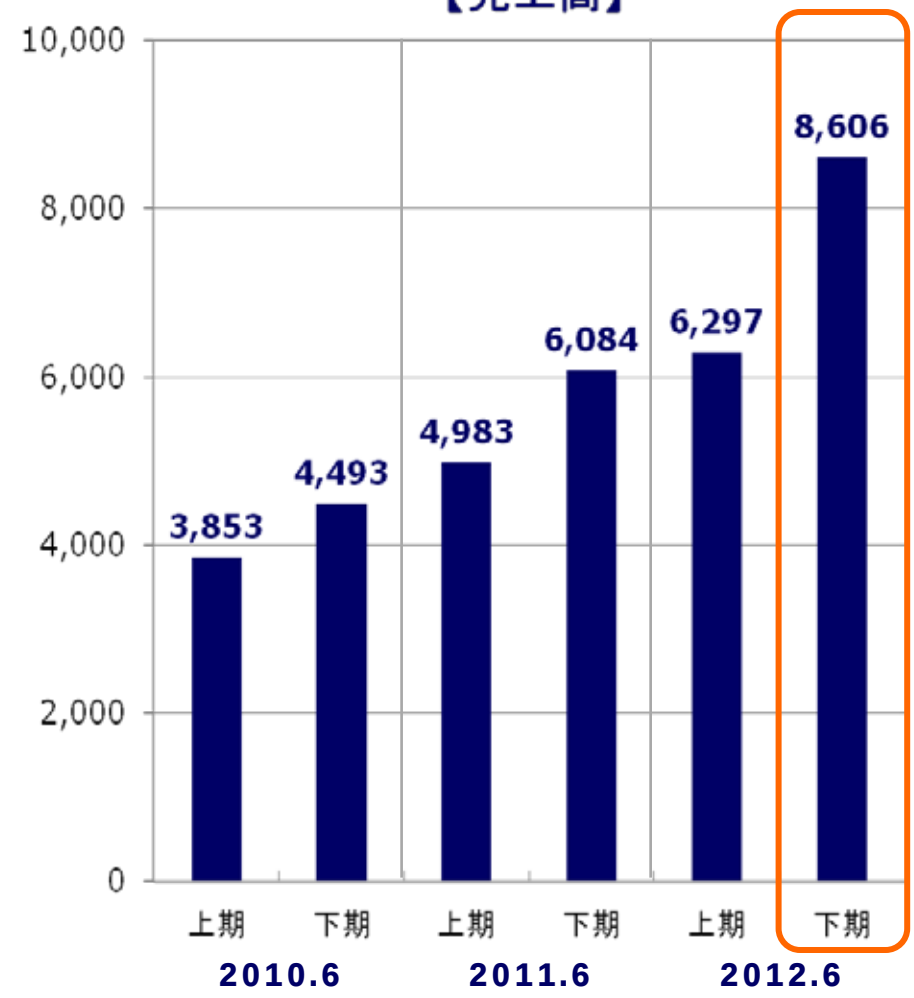
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

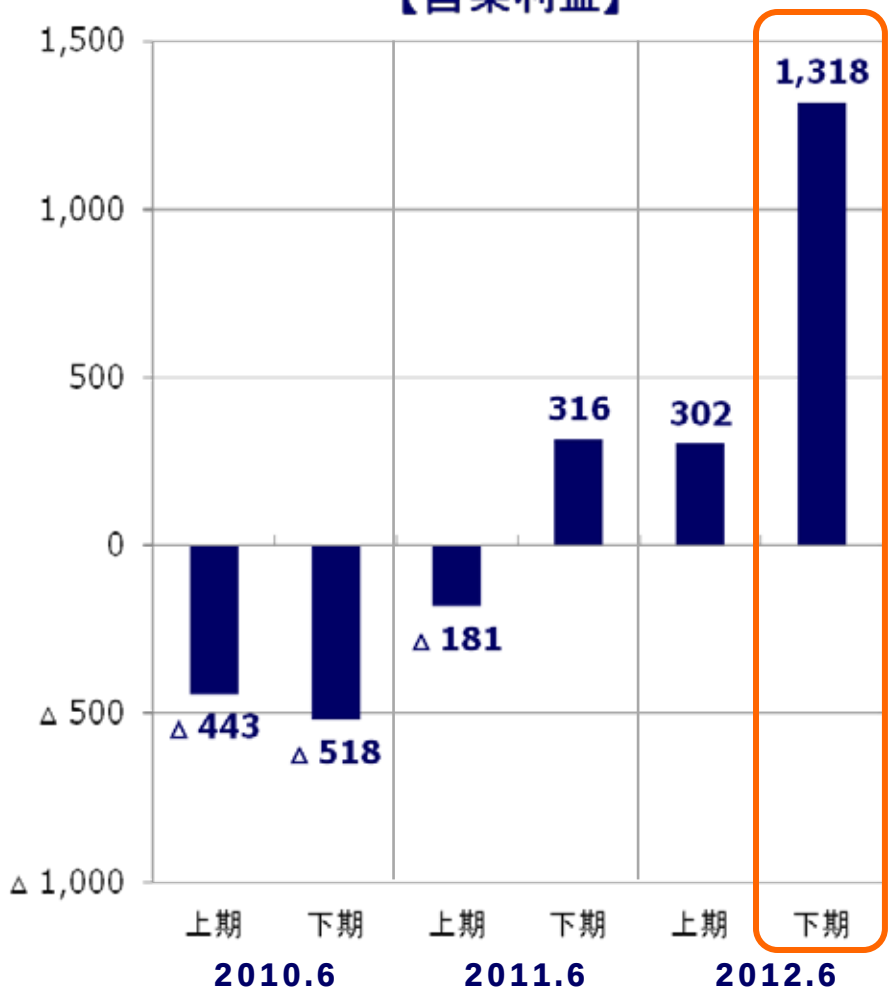
連結売上高と営業利益の半期別推移

context company

～継続的な増収および過去最高の半期営業利益を実現～

(単位:百万円)





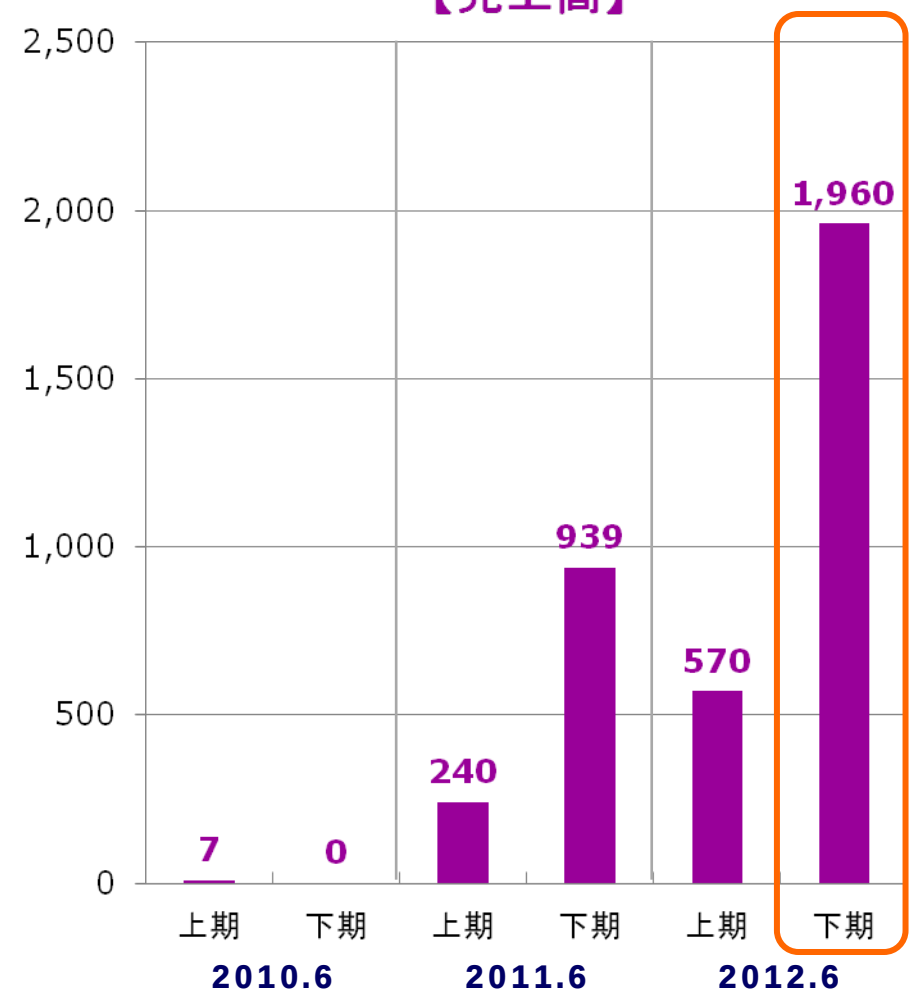
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

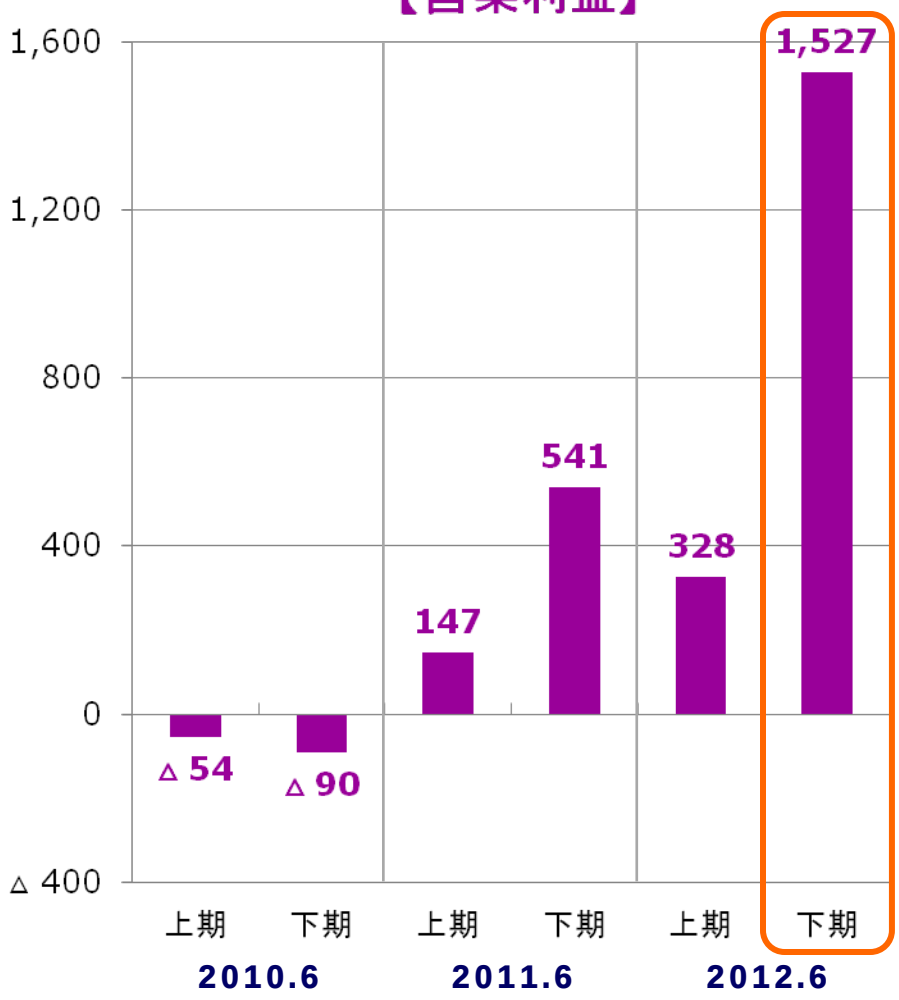
ベンチャー・インキュベーション セグメントの半期別推移

context company

～世界的な金融不安の中でもシリコンバレーを中心とするIT投資は活況～

(単位:百万円)



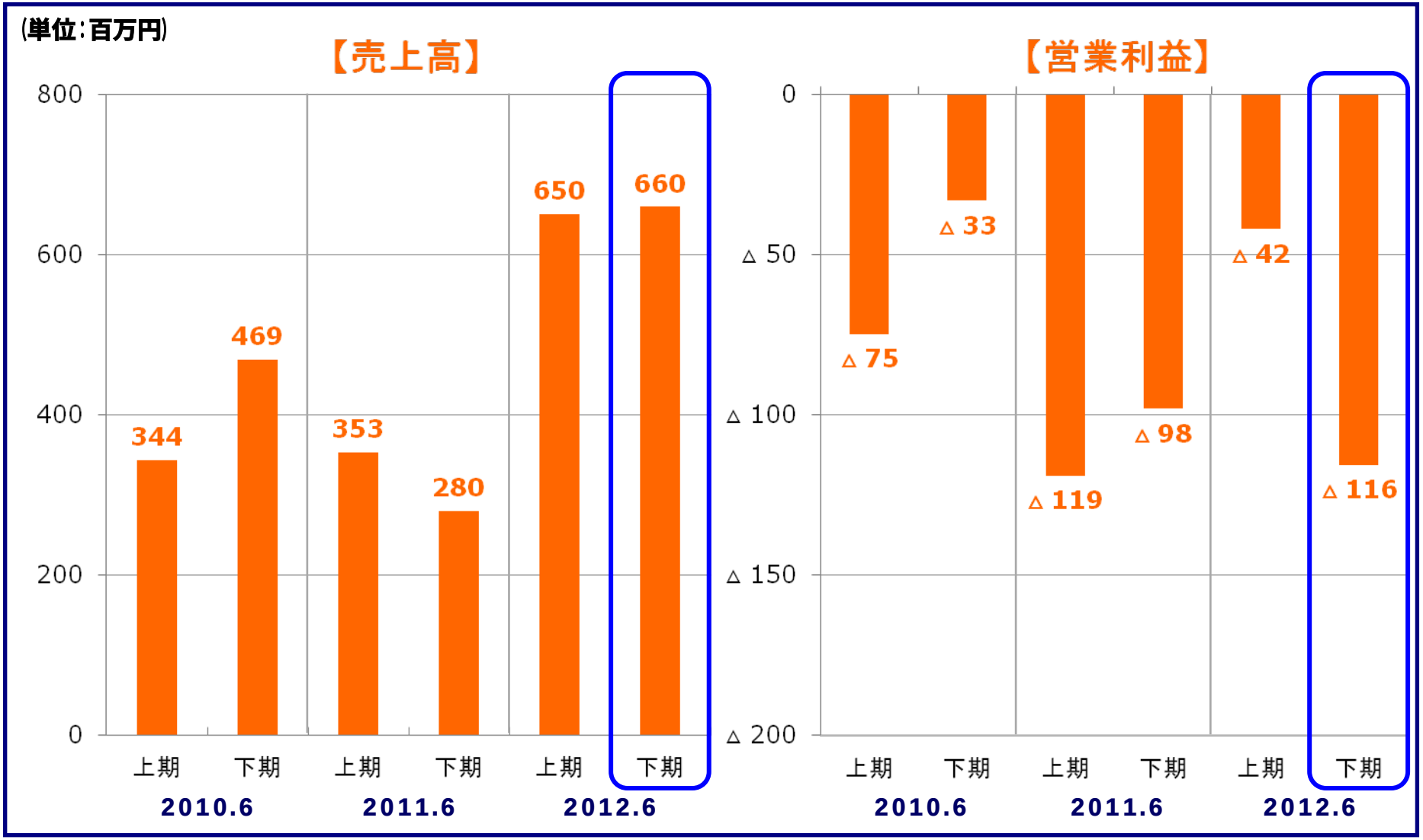


Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

メディア・インキュベーション セグメントの半期別推移

context company

～US中心にアジャイル開発ネットワーク構築のための先行投資コストの計上～

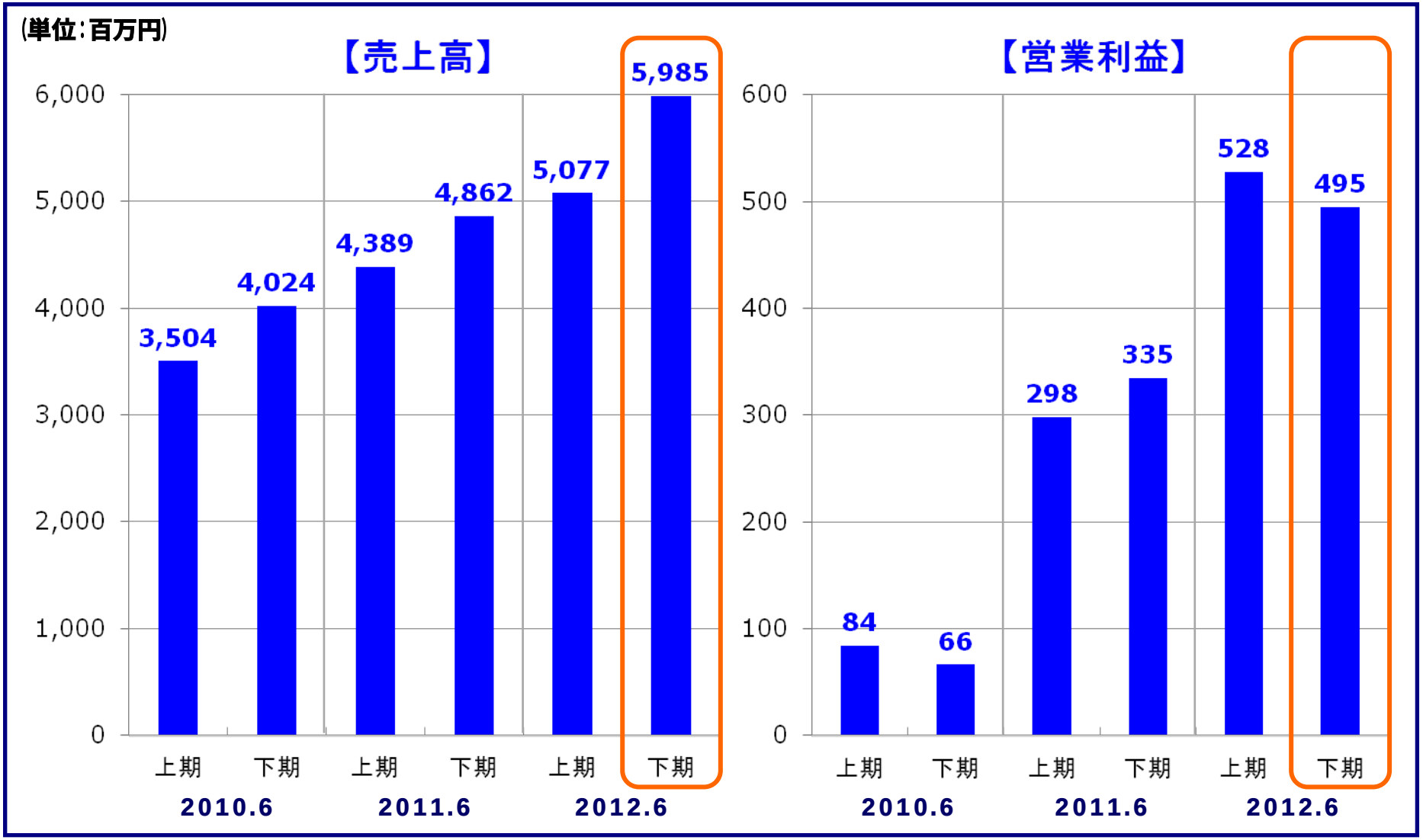


Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ハイブリッド・ソリューション セグメントの半期別推移

context company

～決済、広告 / プロモーションともに好調を維持、継続的な伸びを実現～



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2012年6月期 財務サマリー 要約B/S（連結）

（単位：百万円）

	2011.6期末	2012.6期末	前期比（金額）	主たる変動要因/備考
流動資産	**14,345**	**28,005**	**+13,660**	
現預金	4,784	12,308	+7,524	公募増資、ベリトランス連結
未収入金	4,351	7,577	+3,226	決済事業の伸長
金銭の信託	2,501	3,404	+903	決済事業の伸長
営業投資有価証券	912	1,904	+992	積極的な投資を継続
固定資産	**6,075**	**21,333**	**+15,258**	
投資不動産	0	2,677	+2,677	San Franciscoに取得
のれん	1,768	12,104	+10,336	ベリトランス連結による
資産合計	**20,421**	**49,338**	**+28,917**	
流動負債	**9,933**	**28,505**	**+18,572**	
預り金	6,168	14,956	+8,788	決済事業の伸長
有利子負債	2,519	10,740	+8,221	買収資金の一部を借入で調達
固定負債	**592**	**355**	**△237**	
有利子負債	351	183	△168	
純資産	**9,895**	**20,476**	**+10,581**	公募増資
利益剰余金	2,398	4,505	+2,107	
負債･純資産合計	**20,421**	**49,338**	**+28,917**	

■ 自己資本比率

48%（11.6期）→ 41%（12.6期）

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2012年6月期 事業セグメント別レビュー

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ事業セグメント

context company

I ベンチャー・インキュベーションセグメント

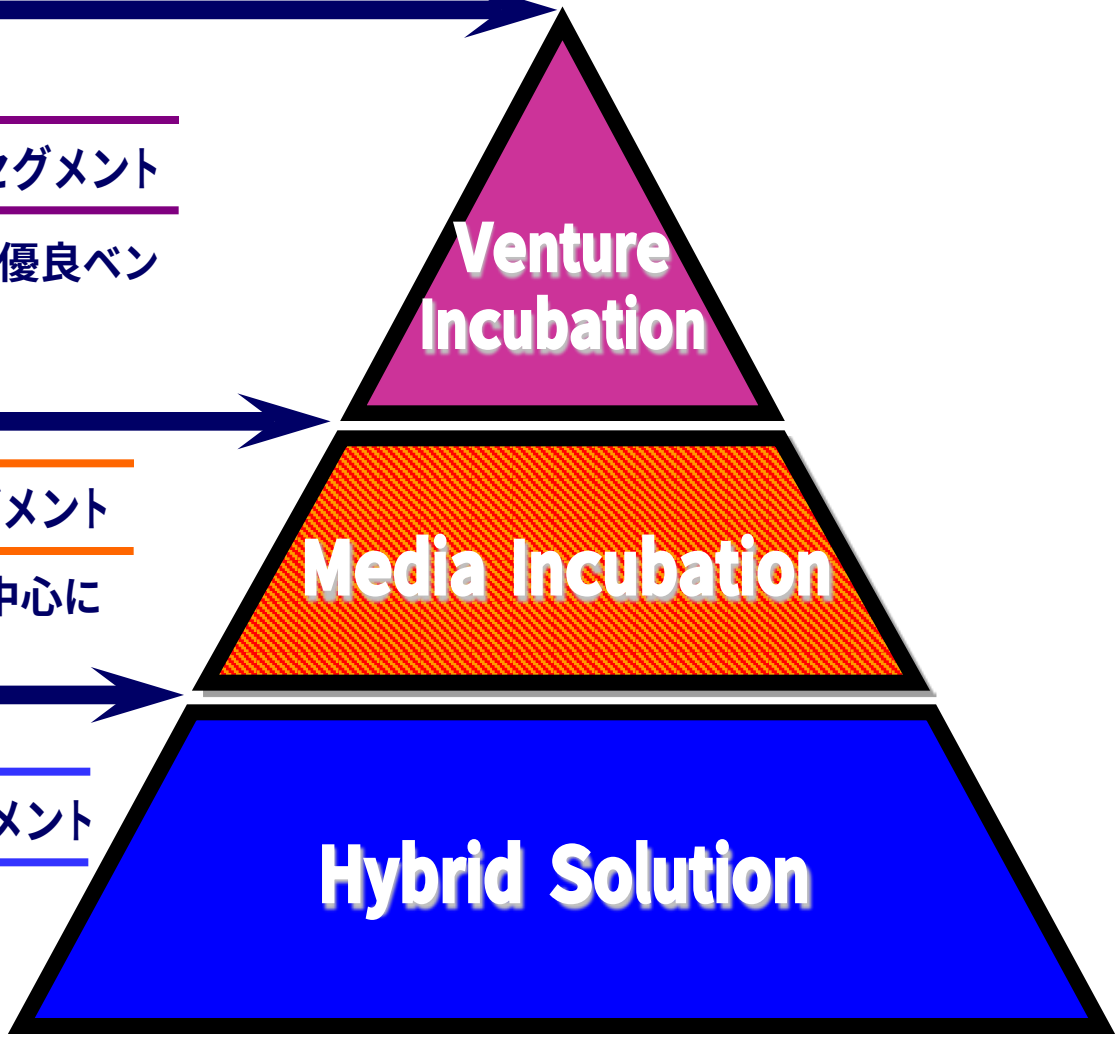
Ø国内・海外の投資展開および日本発の優良ベンチャー企業の投資・育成

II メディア・インキュベーションセグメント

ØTwitterをはじめソーシャルメディアを中心にメディア/アプリビジネスをインキュベート

III ハイブリッド・ソリューションセグメント

Ø「Hybrid Solution」として、決済とマーケティングを融合



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Ⅰ ベンチャー・インキュベーション

		売上高	営業利益
2010年6月期	実績	7 百万円	△143 百万円
2011年6月期	実績	1,180 百万円	688 百万円
2012年6月期	実績	2,530 百万円	1,856 百万円

➢ 株式会社 DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資・育成等インキュベーション事業

DG INCUBATION

➢ 株式会社 Open Network Lab

インターネットビジネスの起業を志すエンジニアの育成プログラム

Open Network Lab

Open Network Lab
～ 日本のスタートアップを世界へ ～

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ベンチャー・インキュベーション セグメントの事業戦略

context company

シリコンバレー中心の海外投資展開および日本発の優良ベンチャー企業の投資・育成

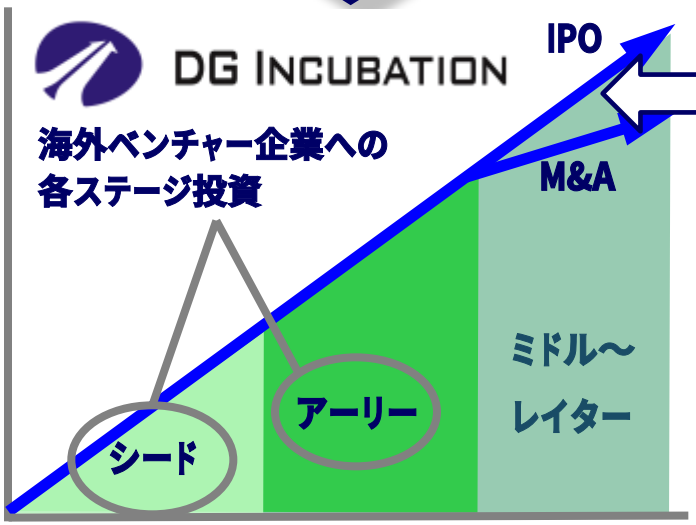
グローバル開発ネットワーク/サンフランシスコ・インキュベーションセンターと連動
“インポート、エクスポート”に“グローバル”を加えた全方向による投資・育成モデルの確立

インポートモデル

海外有望ベンチャー企業に対する投資・育成
日本ローカライズ・海外発の世界展開支援

エクスポートモデル

国内有力ベンチャー企業に対する投資・育成
日本発の世界展開支援



- アジャイル開発ネットワークを活用
- 新インキュベーションセンターとの連動

グローバル・インキュベーションを加速

Open Network Lab

国内シードステージ
有望ベンチャー企業育成

http://onlab.jp/

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

シリコンバレー投資家ネットワークに加え、独自の投資コミュニティを構築

有力エンジェル・ファンドを起点に構築したシリコンバレー投資家ネットワークに加え、
投資先ファウンダーを含めた、多層的なDG独自の投資コミュニティを国内外に確立

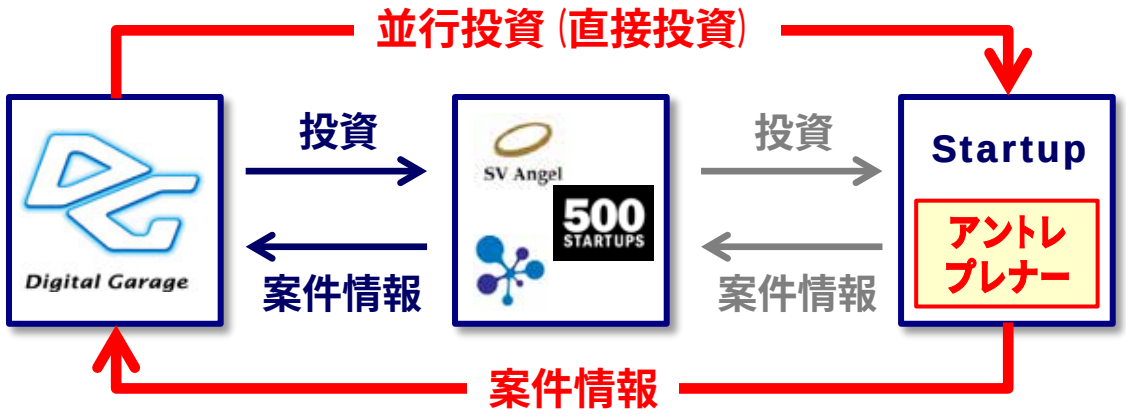
2012.6期の投資実績

＜総投資件数＞	＜海外＞	＜国内＞
34件	21件	13件

＊公募増資資金をもとに国内外ともに積極的な投資を展開

日米の投資家ネットワークを起点とする相乗効果の確立

- 海外のプレゼンス向上が国内の案件開拓に寄与
- さらに国内のプレゼンス向上が海外の案件開拓に寄与



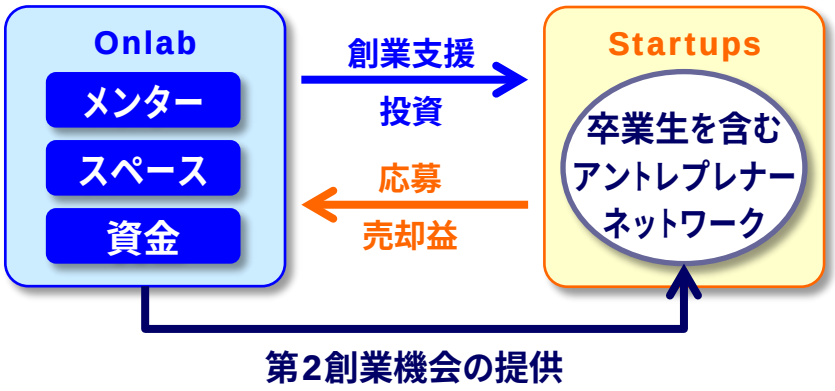
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

日本を代表するシードアクセラレーターとして順調にOnlabブランドを確立

- 卒業チームがシリコンバレーの有力アクセラレータープログラム Y Combinator に選出
- サンフランシスコ、アジアへの海外展開や連動プログラム/イベントを準備中

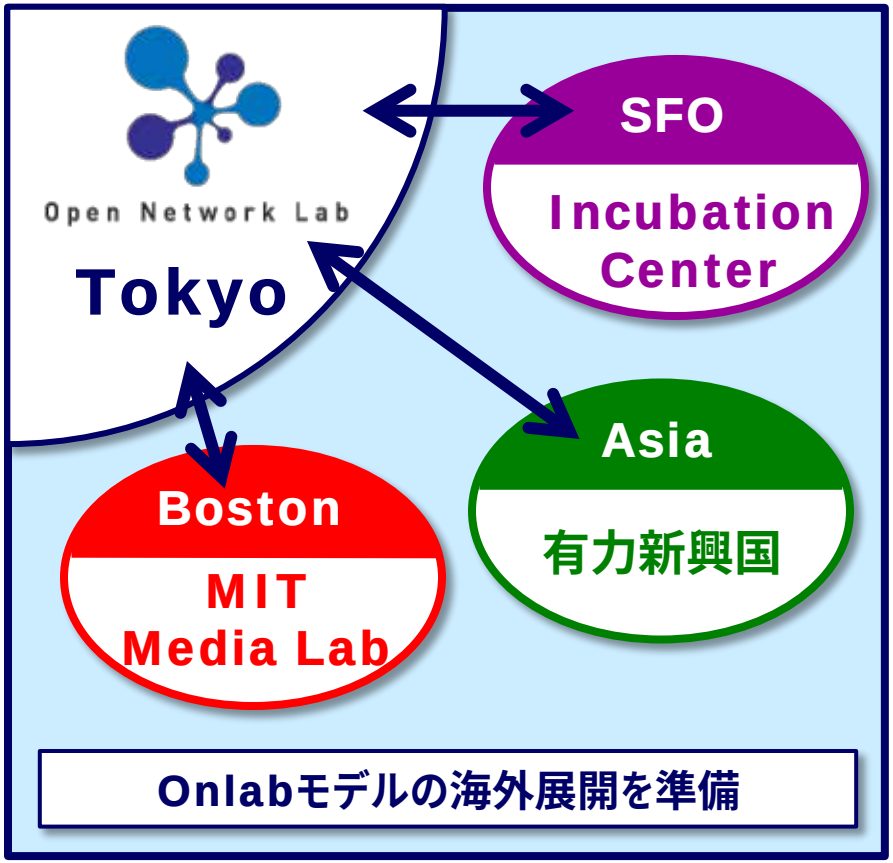
【Onlabのビジネスモデル】

① シード・アクセラレーター（創業支援プログラム）
② 起業関連イベントの開催
③ 投資（上限5％）



現在、第5期プログラム実施中

【今後のグローバル展開】



Onlabモデルの海外展開を準備

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

II メディア・インキュベーション

		売上高	営業利益
2010年6月期	実績	812 百万円	△107 百万円
2011年6月期	実績	634 百万円	△218 百万円
2012年6月期	実績	1,310 百万円	△158 百万円

➢ メディアインキュベーション本部

海外メディアのローカライズ／自社メディア構築の推進

➢ 株式会社CGMマーケティング

CGM Marketing

Twitter、CGMを活用した広告商品開発、twinavi運営、Twitter利用企業支援

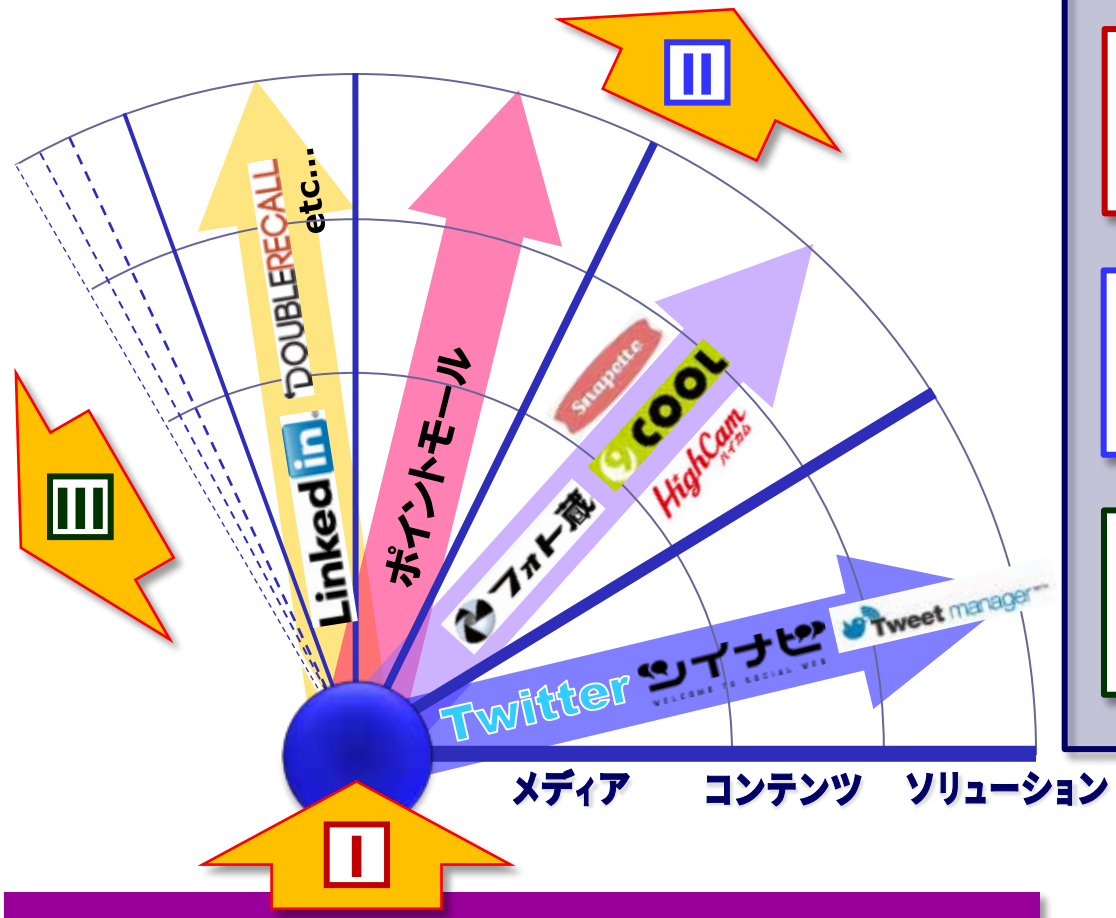
➢ New Context, Inc. {new context}

San Francisco現地法人、グローバルアジャイル開発コンサルティング、受託開発

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

メディアの育成および展開の方向性



ベンチャー・インキュベーション セグメント

I ベンチャー・インキュベーションと連携した次世代シード・メディアの継続的発掘

II アジャイル開発ネットワークを活用したLean Startupによるメディア育成加速

III グローバル・インキュベーション戦略と連動したグローバルメディア育成への展開

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

メディアインキュベーション本部のハイライト

context company

・サンフランシスコ{new context}との、日米のシームレスな技術支援体制構築のため、安田取締役の海外事業担当就任

・日本/米国/シンガポール間の連携を強化しつつ、新規サービスの大幅ピボットを実施（選択と集中）

事業ハイライト

◆ 日本最大級のフォトストレージサービス フォト蔵 PHOTOZOU.JP

Ø CGMマーケティングと連動しながら広告販売を本格稼働。

Ø スマートフォンアプリをリリースし、さらなるUU/投稿数の拡大へ。



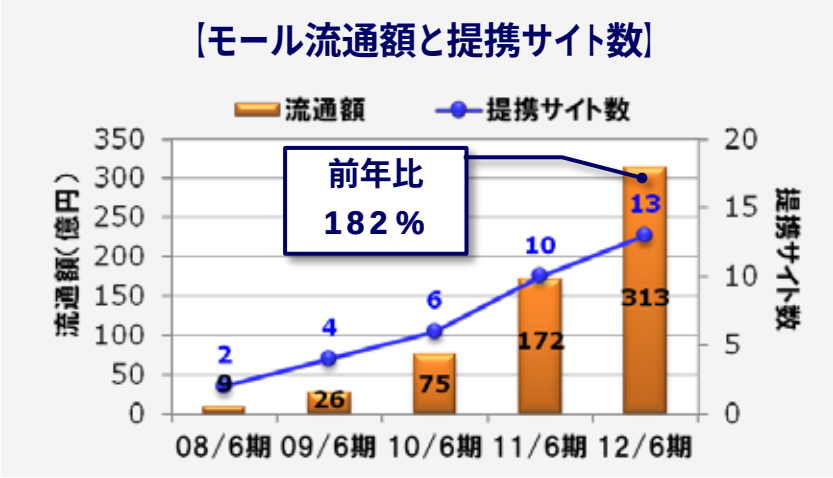
◆ その他の新規サービス

Ø NTTドコモとの共同出資事業である HighCam ハイカム を日本導入。また、e-コマースキュレーションサービス COOL のβ版をリリース。

ポイントモール

◆ カード会社等の顧客情報保有企業と提携、9,300万人超の対象会員数を抱えるネットワークに成長。

◆ モール流通額は前年比1.8倍の313億円に成長。



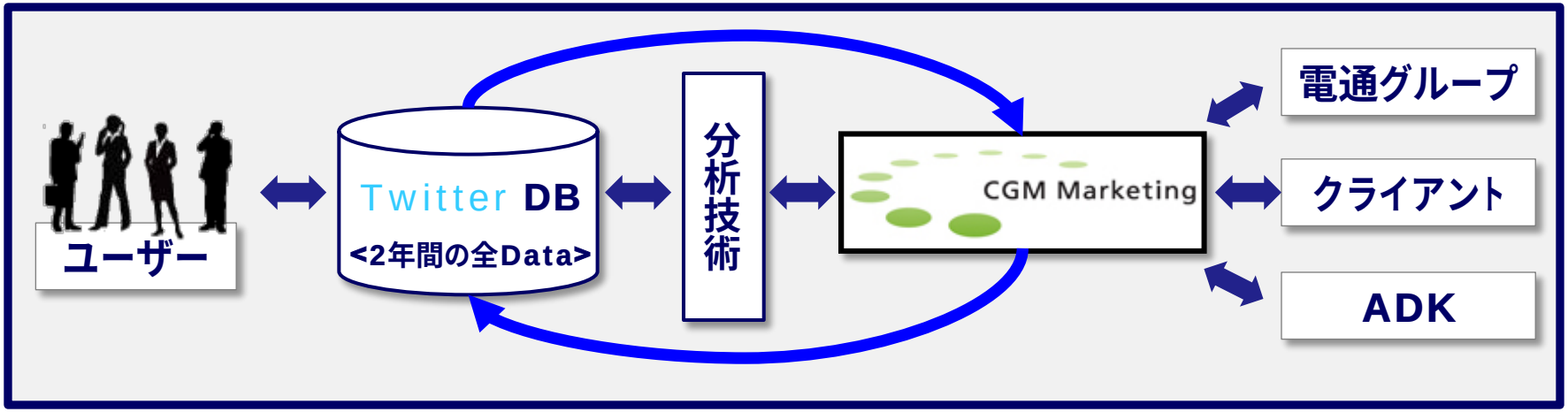
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Ⅰ Twitter社との連携領域の拡大

◆ Twitter社と連携し、新たにビッグデータ事業を開始

Ø 日本初のSite Streams APIの提供を受け、Twitterに蓄積された過去2年分の全ツイートデータを取得

Ø 感情分析機能も実装する、高度な日米の技術を融合し、ビッグデータ事業を推進



◆ Twitter社とプロモ商品群の販売代理店契約を締結

Ø 従来の公式バナー広告に加え、プロモ商品群の販売も開始

Ⅱ 既存事業（公式バナー広告、Tweet manager）の好調

◆ 公式バナー広告事業は2011年12月のUI変更による在庫調整後、順調に推移

◆ Tweet manager はライフライン企業に加えCRM重視企業からの引き合い増で導入社数が順調に拡大

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

The Team（世界中のアジャイルネットワークから第1人者が結集）

Lean Startup提唱者Eric Ries氏をゼネラル・パートナーとして招聘。アジャイル開発/UXデザインの受託・コンサルティングをベースに、自社プロダクトや投資育成で加速度的な事業成長を目指す。

<Management>


伊藤 穰一
Co-Chairman


林 郁
Co-Chairman


Ian McFarland
President & CSO


Eric Ries
General Partner


安田 幹広
CEO

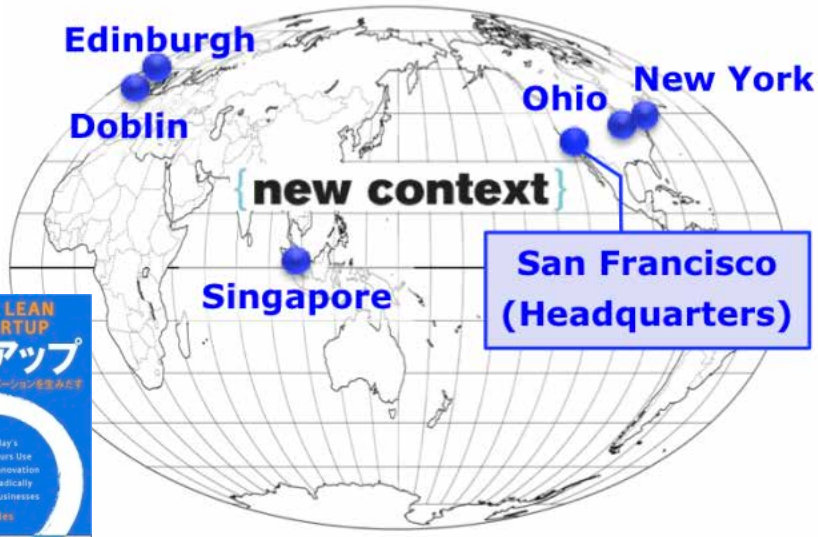

Kent Lindstrom
COO

<Regional Leadership>


US


Asia


Europe



Eric Riesとのカンファレンス





2012年12月3〜4日　サンフランシスコにて開催予定

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

III ハイブリッド・ソリューション

		売上高	営業利益
2010年6月期	実績	7,527 百万円	150 百万円
2011年6月期	実績	9,252 百万円	634 百万円
2012年6月期	実績	11,063 百万円	1,024 百万円

➢ ディージー・アンド・アイベックス カンパニー

マーケティングプロモーション支援、メディア構築およびWebソリューション提供

DG&Ibex

➢ イーコンテクスト カンパニー

ECビジネス等における決済プラットフォーム事業等

e-context

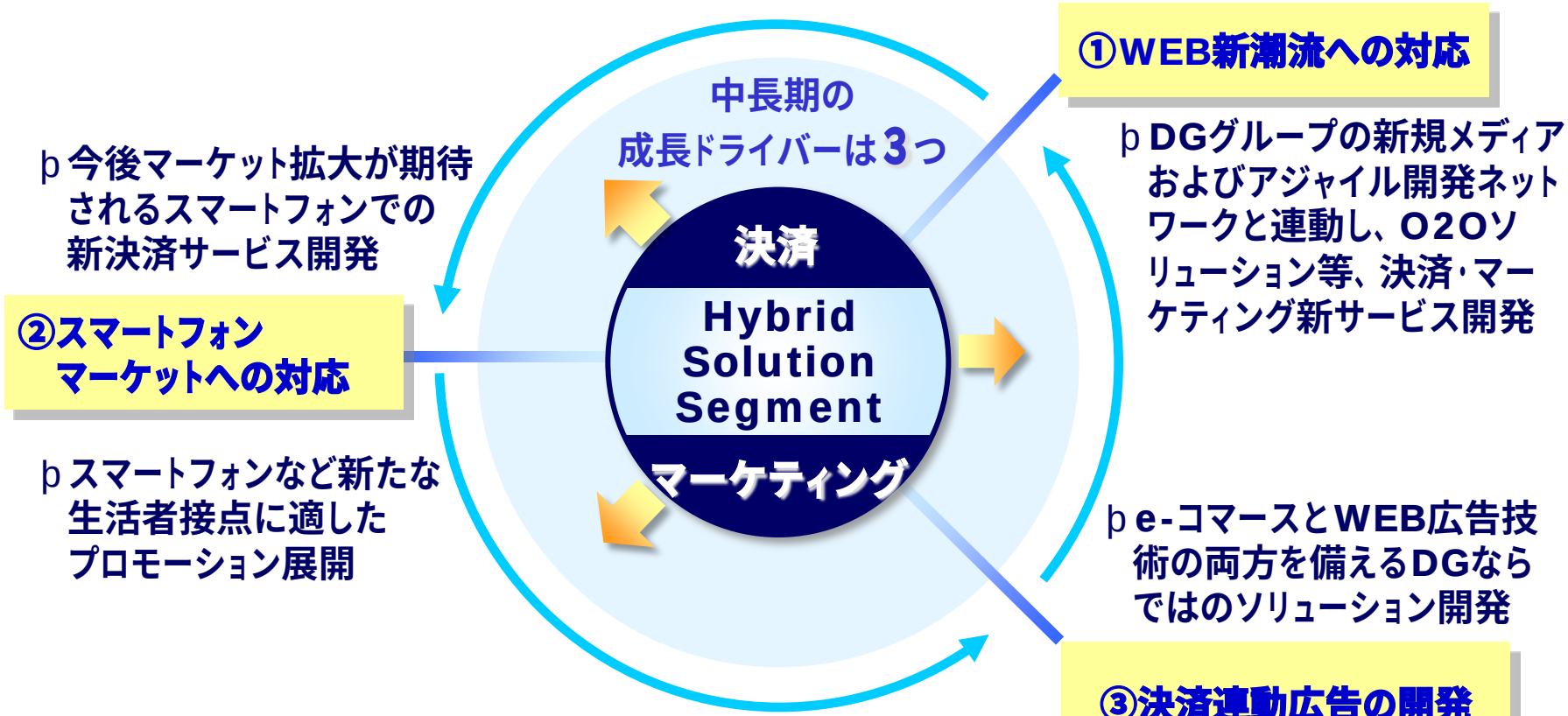
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ハイブリッド・ソリューション セグメントの事業戦略

context company

ハイブリッドソリューション領域（広告/決済）を3つの成長ドライバーで更に加速

①DG新規メディア・アジャイル開発ネットワークを活用したWEB新潮流への対応
②スマートフォンが創造する新しいマーケットにいち早く対応
③決済連動広告の開発



①WEB新潮流への対応

- DGグループの新規メディアおよびアジャイル開発ネットワークと連動し、O2Oソリューション等、決済・マーケティング新サービス開発

②スマートフォン マーケットへの対応

- 今後マーケット拡大が期待されるスマートフォンでの新決済サービス開発
- スマートフォンなど新たな生活者接点に適したプロモーション展開

- e-コマースとWEB広告技術の両方を備えるDGならではのソリューション開発

③決済連動広告の開発

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ディージー・アンド・アイベックス カンパニーのハイライト

context company

＜2012年 6月期の実績＞

売上総額	クライアント単価	クライアント数
79.8億円	26.9百万円	297社
(前年同期比) 127％	(前年同期比) 120%	(前年同期比) 106％

DG&Ibex

前期の好調を維持、過去最高の売上高を更新

【成長の要因】

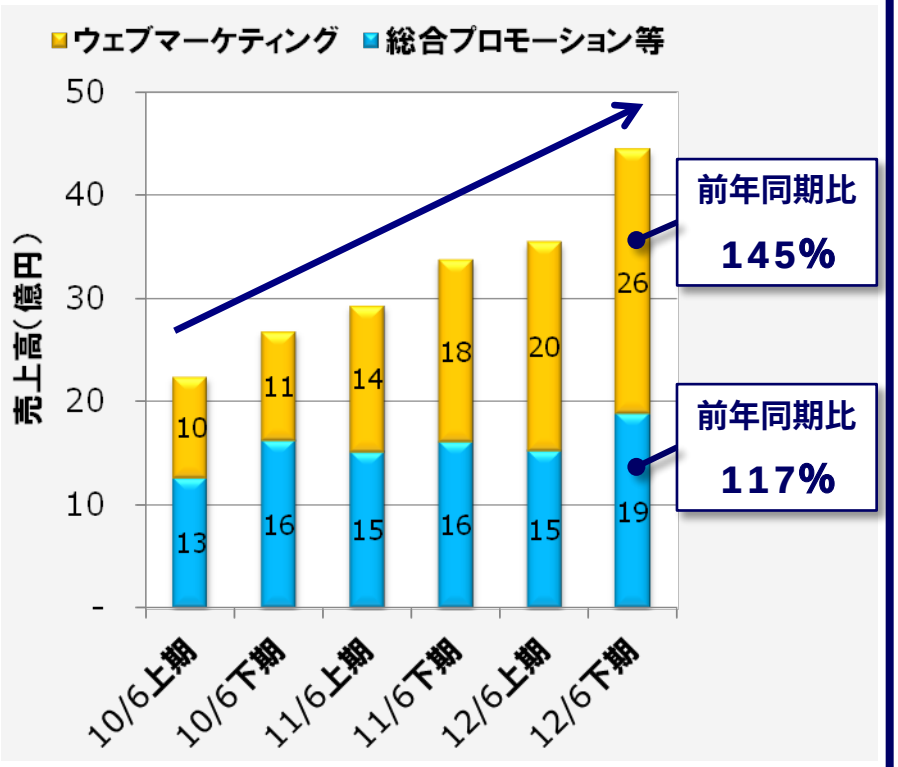
ソーシャルメディアに対するDGの知見をベースとした業界特化型のソリューション開発が好調

u ウェブマーケティング領域
- Ø コスメ・金融等、マーケット特化戦略が奏功し、前年同期比45%増の成長を実現

u 総合プロモーション領域
- Ø 注力を行っていた新規顧客獲得数が向上
- Ø 独自のデジタルプランニング力が評価されクライアント単価も向上し、前年同期比17％増の成長を実現

u 新たなマーケティング・ソリューションの開発推進
- Ø サイバーとリアルを融合（O2O）した業界特化型のソリューション開発推進（食べログとの協業など）
- Ø グループメディアデータを活用したDSP事業の推進

【売上高の推移】



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

イーコンテクスト カンパニーのハイライト

context company

＜2012年 6月期の実績＞

提携サイト数	取扱件数	取扱高
49,519サイト	2,210万件	1,500億円
(前年同期比) 119％	(前年同期比) 145％	(前年同期比) 129％

e-context

取扱件数、取扱高ともに過去最高を記録

【成長の要因】

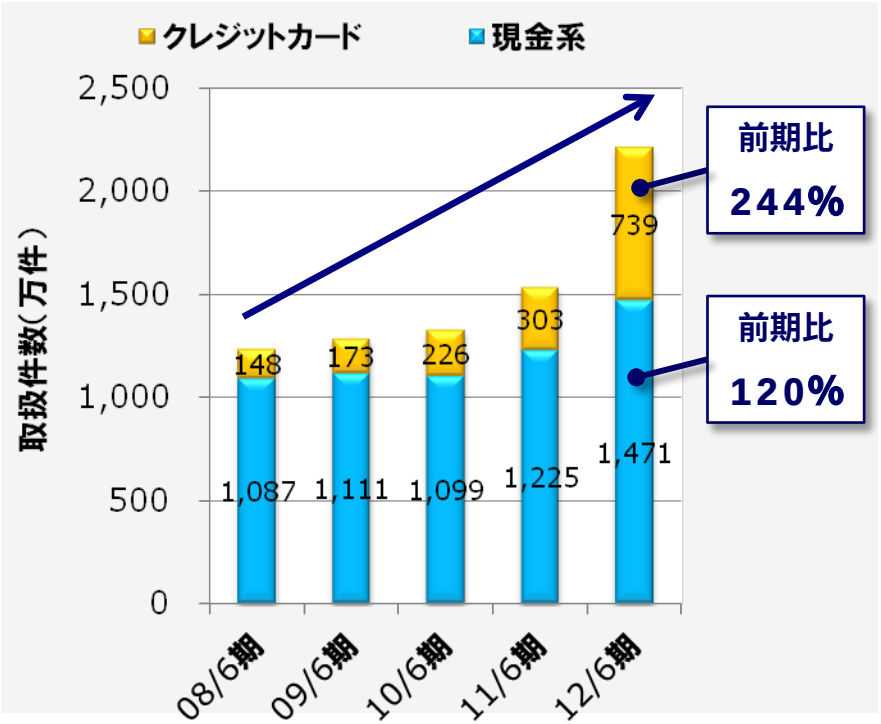
主力のサービス/エンターテインメント領域好調に加え、積極的な新領域・新事業開拓が貢献

u 注力領域の特化が奏功し、既存事業が伸長
- Ø 主力領域（ゲーム・旅行）が引き続き好調
- Ø クレジットカード決済が前年同期比2.4倍の成長

u 得意領域をフックとしたビジネス領域の水平展開
- Ø 旅行領域において、得意とする移動手段（LCC等）の決済から、移動中の娯楽や飲食・宿泊の決済にまで、ビジネス領域の水平展開を推進

u 新規事業：BtoC送金サービス CASHPOST
- Ø 収納代行の枠を超えた事業展開を推進

【取扱件数の推移】

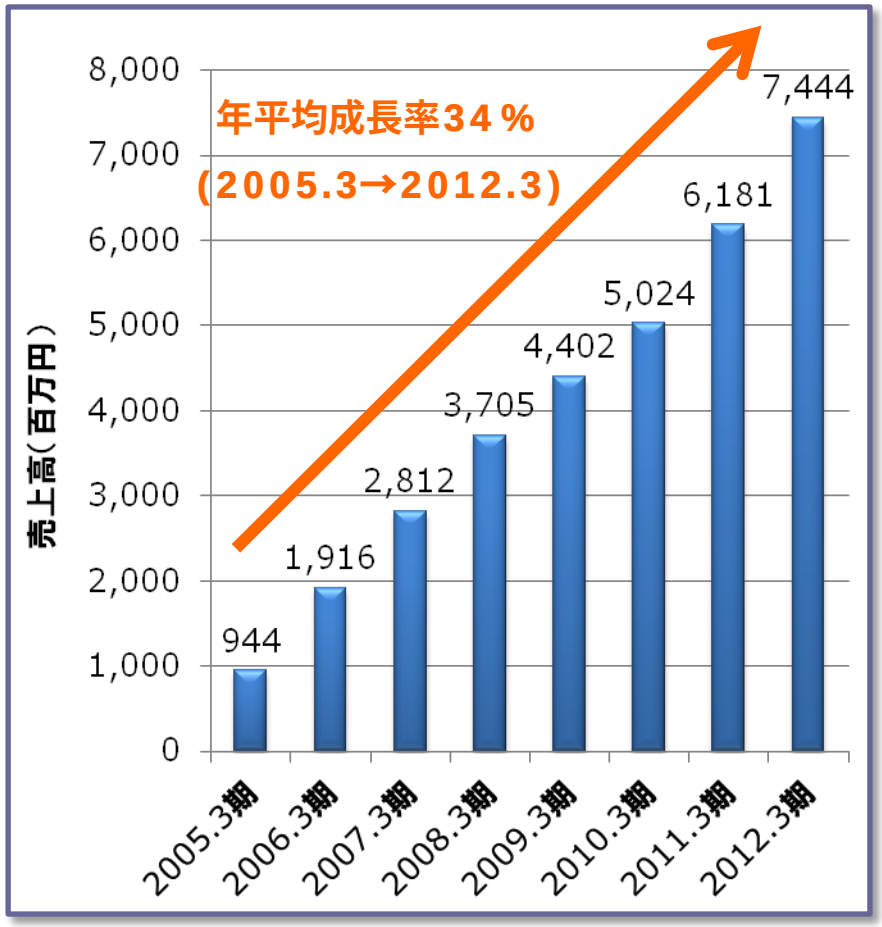


Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

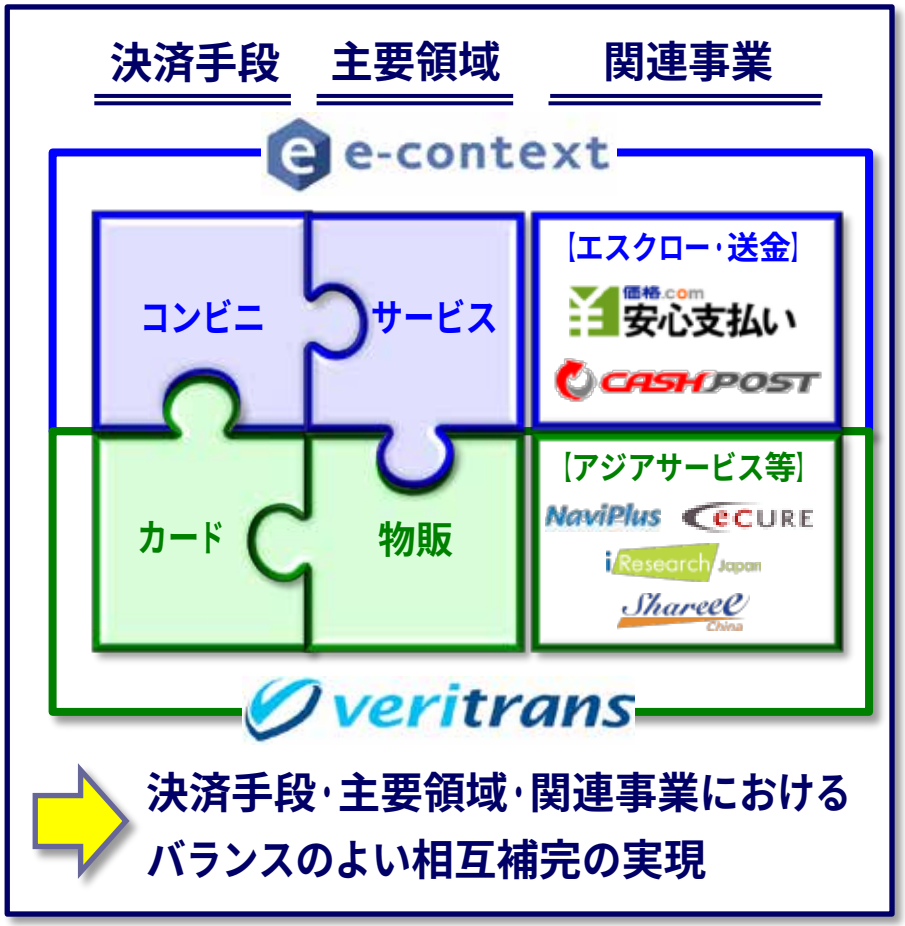
ベリトランスのハイライト（連結寄与は2013.6期より）

国内EC市場の成長率を上回る年率30％超の成長を遂げてきたベリトランスをDGグループに迎え、
日本最大級の決済プラットフォームを形成。のみならず、e-contextとの高バランスな補完関係を実現。

＜年平均30％超の成長を継続＞



＜事業領域における高い親和性＞



決済手段・主要領域・関連事業における
バランスのよい相互補完の実現

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

新中期3ヵ年計画ダイジェスト
(2013.6期→2015.6期)

2012.8.14

Digital Garage

context company

Global Incubationを中軸とした DGグローバル経営1st Stageへ

日米2拠点から、アジアを含めた3拠点体制へ

I インキュベーション戦略：エコシステムのグローバルシフト

Øオープンイノベーションがもたらす、「次世代インターネットビジネスシード」のファインディング＆インキュベーション

II マーケティング戦略：収益逓増モデルを第2の柱へ

Øグループメディアデータを活用したデータマネジメント事業を開始

III ペイメント戦略： アジアへと決済プラットフォームを拡大

Ø決済HQを香港に設立、決済を核とするDGモデルのアジアへの横展開

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

新中期3ヵ年計画のコンセプトとスローガン



Lean Global

We provide new context

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

Lean Global

We provide new context

新しいコンテクストを次世代へと届ける

インターネットの浸透とムーアの法則の発展が世界をさらに小さくしている。

かつて、大企業やシリコンバレーでしか生み出せなかったような
サービスや技術が、スタートアップレベルで実現できる時代を迎えた。

この結果、企業にとって俊敏さ（Agility）つまり急激な環境変化への適応力が、
戦略やパワーよりも重要になってきている。

**Lean（無駄のない）変革ともいうべきこの動きは、
Global（地球規模）であらゆる産業を巻き込んでいく。**

デジタルガレージグループは、東京、サンフランシスコ、香港の3つのHQから
Lean Globalなインキュベーションストリームを生み出し、
日本発の新しいコンテクストを次世代へと届ける。

デジタルガレージ　共同創業者　林　郁／伊藤 穰一

新中期3カ年計画ビジュアルコンセプト/イメージボード

context company



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

Lean Global 3つのHQ

Hong Kong

決済セグメントのHQ

ASIA展開

Tokyo

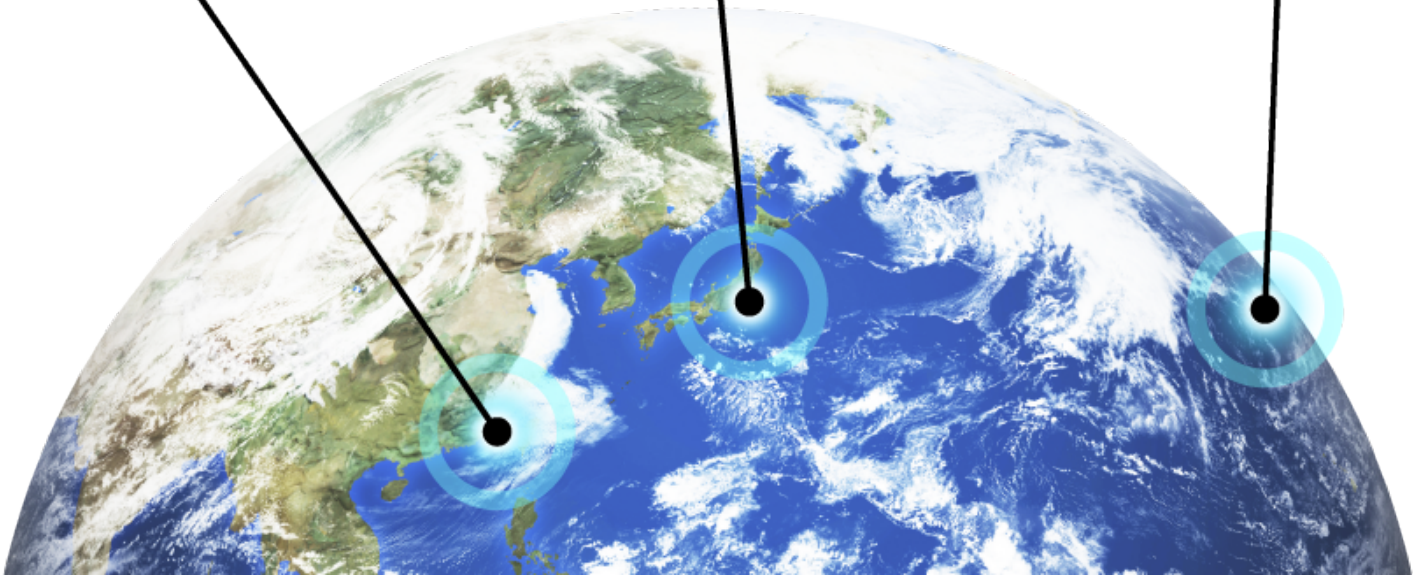
グループのHQ

Digital Garage

San Francisco

インキュベーションセンターと
アジャイル開発のHQ

DGUS {new context}

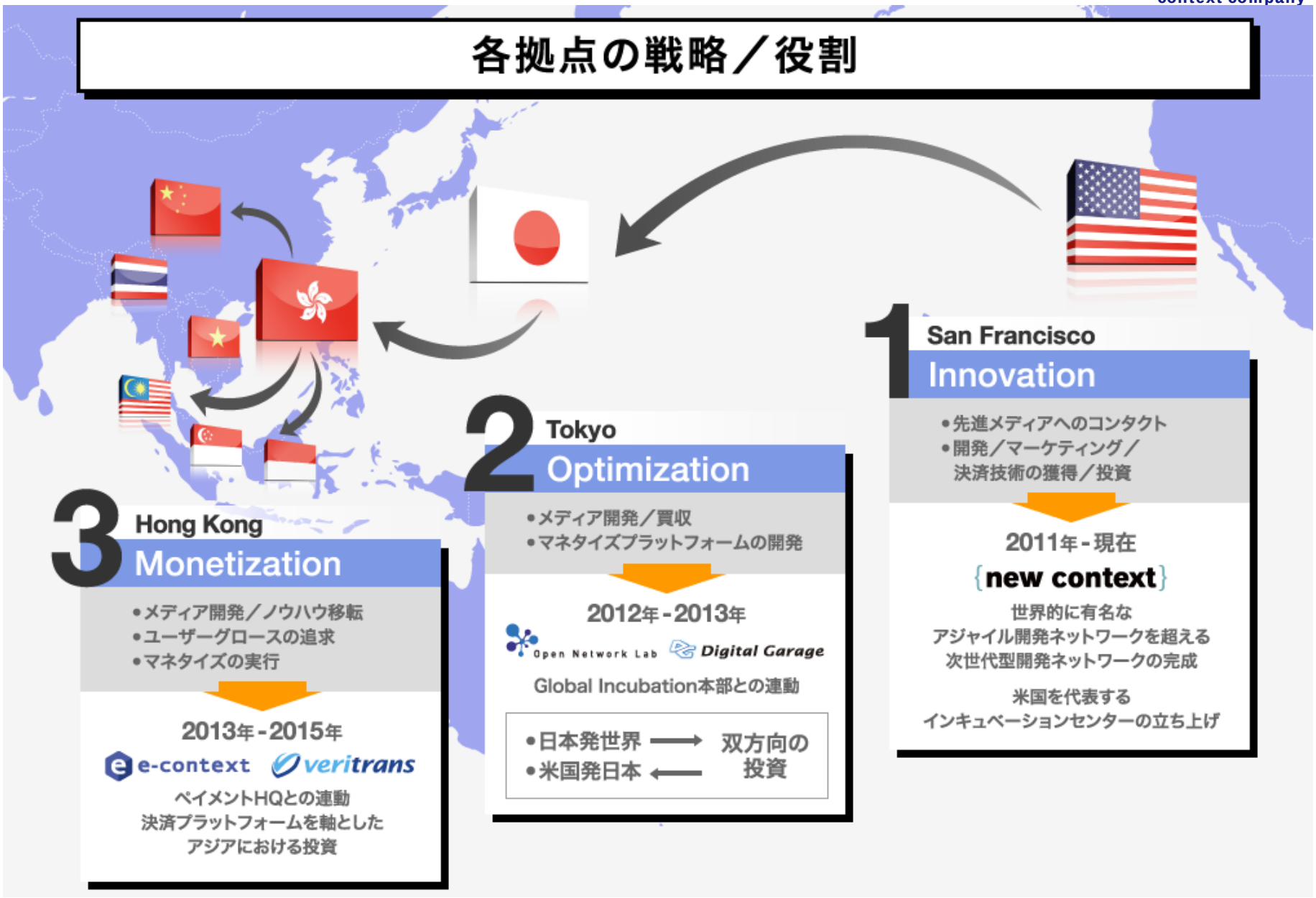


Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

3つのHQとインキュベーションストリーム

context company

各拠点の戦略／役割



1 San Francisco
Innovation

- 先進メディアへのコンタクト
- 開発／マーケティング／決済技術の獲得／投資

2011年 - 現在

{new context}

世界的に有名な
アジャイル開発ネットワークを超える
次世代型開発ネットワークの完成

米国を代表する
インキュベーションセンターの立ち上げ

2 Tokyo
Optimization

- メディア開発／買収
- マネタイズプラットフォームの開発

2012年 - 2013年

Open Network Lab　Digital Garage

Global Incubation本部との連動

- 日本発世界 ⟶
- 米国発日本 ⟵

双方向の投資

3 Hong Kong
Monetization

- メディア開発／ノウハウ移転
- ユーザーグロースの追求
- マネタイズの実行

2013年 - 2015年

e-context　veritrans

ペイメントHQとの連動
決済プラットフォームを軸とした
アジアにおける投資

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

新たな事業セグメント

context company

new context provider DGの新たな事業セグメント

I インキュベーションセグメント

インキュベーション関連事業の統合
(メディア・インキュベーションとベンチャー・インキュベーションを統合)

- 国内外の有望ベンチャー投資育成
- 国内外のメディア開発
- Lean Startup手法による技術開発/事業開発

II マーケティングセグメント

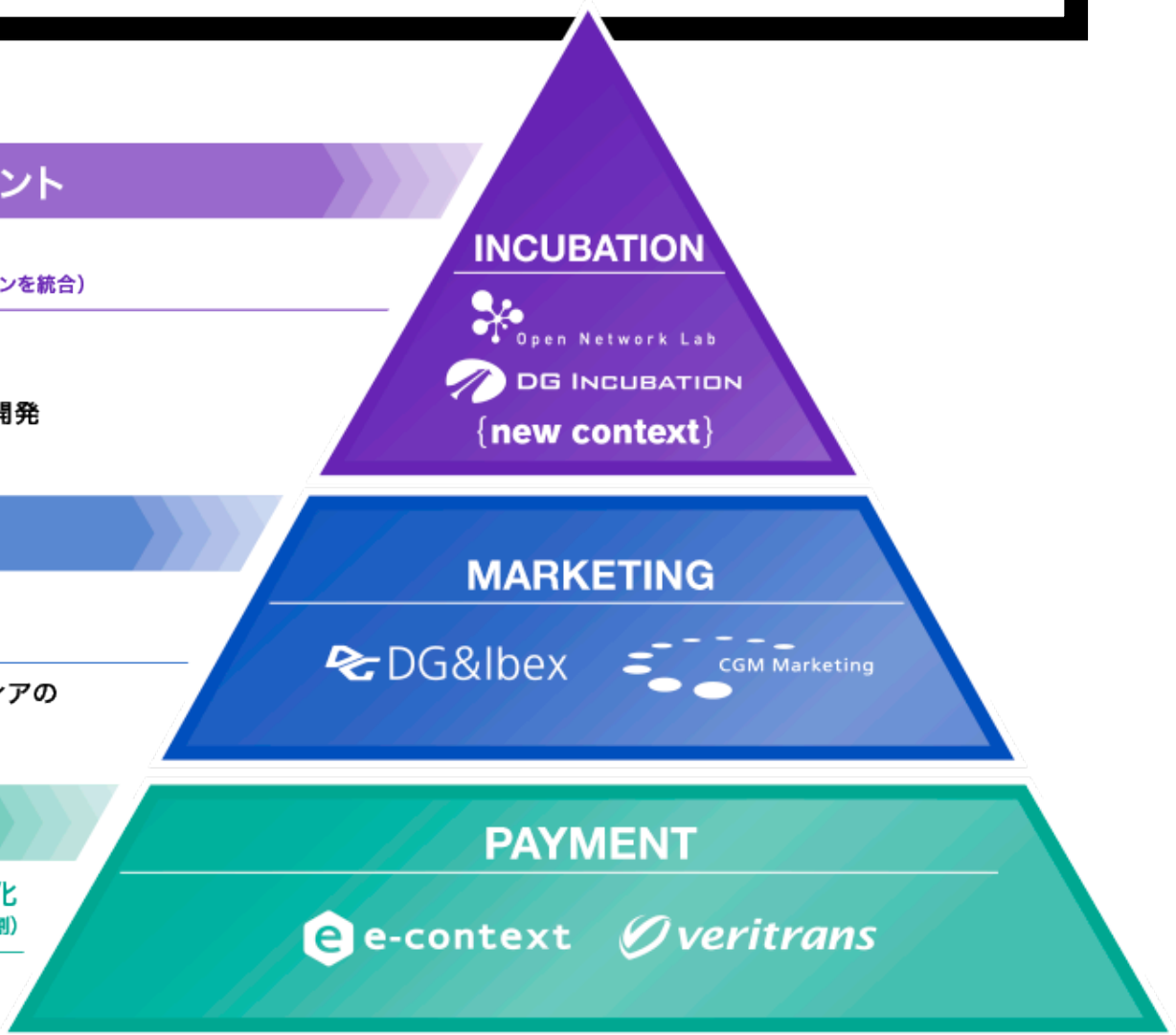
マーケティング事業の新設
(DG&Ibexカンパニーと CGMマーケティングを一体運営)

- 広告/プロモーションならびにグループメディアの オーディエンスデータを活用したDSP事業

III ペイメントセグメント

ペリトランスの連結化による決済事業の一元化
(ハイブリッド・ソリューション事業から決済事業をペイメントに分割)

- 国内最大級のオンライン決済インフラ
- アジア・プラットフォーム

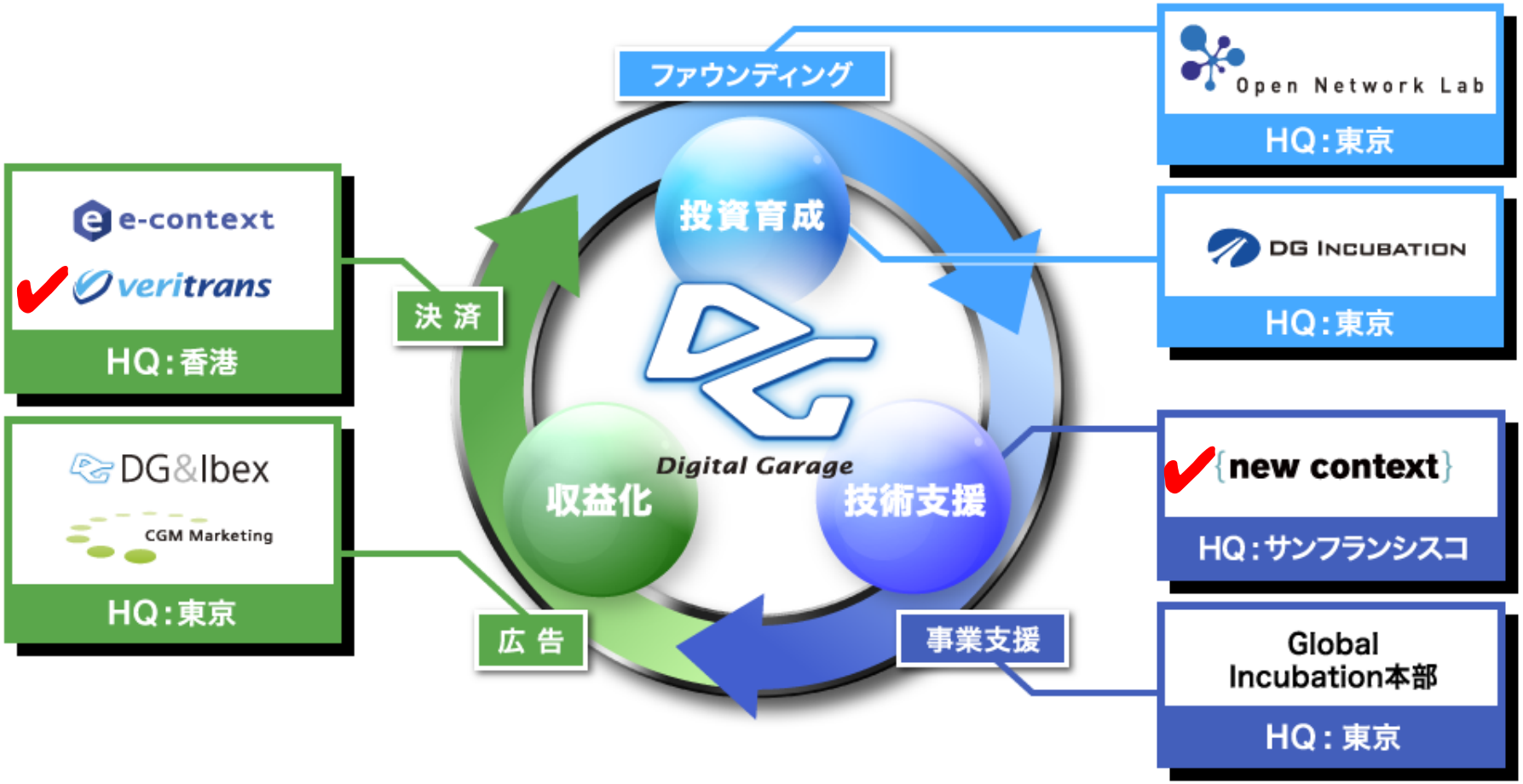


Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGのグローバルインキュベーションシフトと各社の機能

context company

日本国内での決済機能に加えて、veritrans のグループ入りで
アジアネットワークの拡大、又 {new context} 設立でグローバルな技術支援機能を追加



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

I インキュベーションセグメントの中期計画とビジョン

context company

3HQをつなぐインキュベーションストリームの確立

- 3極投資体制の確立
- メディア アクイジションの実施
- Enabling Platformの拡大に伴う、投資機会の創造

日 本

＜セグメントの成長ドライバー＞

- グローバルインキュベーション本部
- 株式会社Open Network Lab

Open Network Lab ～日本のスタートアップを世界へ～

a) 日本発世界
- ・Open Network Lab世界展開
- ・日本事業の世界展開
  - →フォト関連事業・食関連事業 他

b) 米国投資事業の日本ローカライズ
- →Twitter型投資の継続

米 国

＜セグメントの成長ドライバー＞

- New Context, Inc.
  {new context}
- SF インキュベーションセンター
- 投資ファンドとの連携

a) アジャイル開発の拡大
- →第3の極となりうる世界開発ネットワークの機能

b) インキュベーションセンターをベースとした、スタートアップ投資

c) これらに伴う直接 また ファンド投資

アジア

＜セグメントの成長ドライバー＞

- 決済プラットホーム事業との連携投資
- 投資ファンドとの連携

a) 新興国への戦略的な投資・回収
- →各エリアの事業パートナーとの連携
- →決済プラットフォームを活用した戦略出資
- →Onlabのエリア展開

b) これらに伴う直接またはファンド投資

Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

グループをあげて、オーディエンスデータ事業を第2の柱へと育成

マーケティング事業を基盤とし、中期の成長ドライバーとして高収益なメディア事業の拡大と
グループリソースを活用したアドテクノロジー事業を新たに推進

【グループリソース】

e-context
veritrans
NaviPlus

ペイメントセグメント
グループメディア
インキュベーション
セグメント

アジア各国
サンフランシスコ

メディア事業＋アドテクノロジー事業で 15.6期に構成比率（営業利益）５０％強を目指す

【中期成長ドライバー】

- 決済連動広告の開発
- アドテクノロジー事業
- メディア事業

＋

- ウェブプロモーション
- 総合プロモーション

【キーファクター】

- グループリソースを活用した次世代ビックデータ事業推進
- スマートフォンアプリ開発
- ポイントモールのO2Oサービス追加による拡大
- 独自ソリューション開発強化
- マーケット特化戦略による伸張

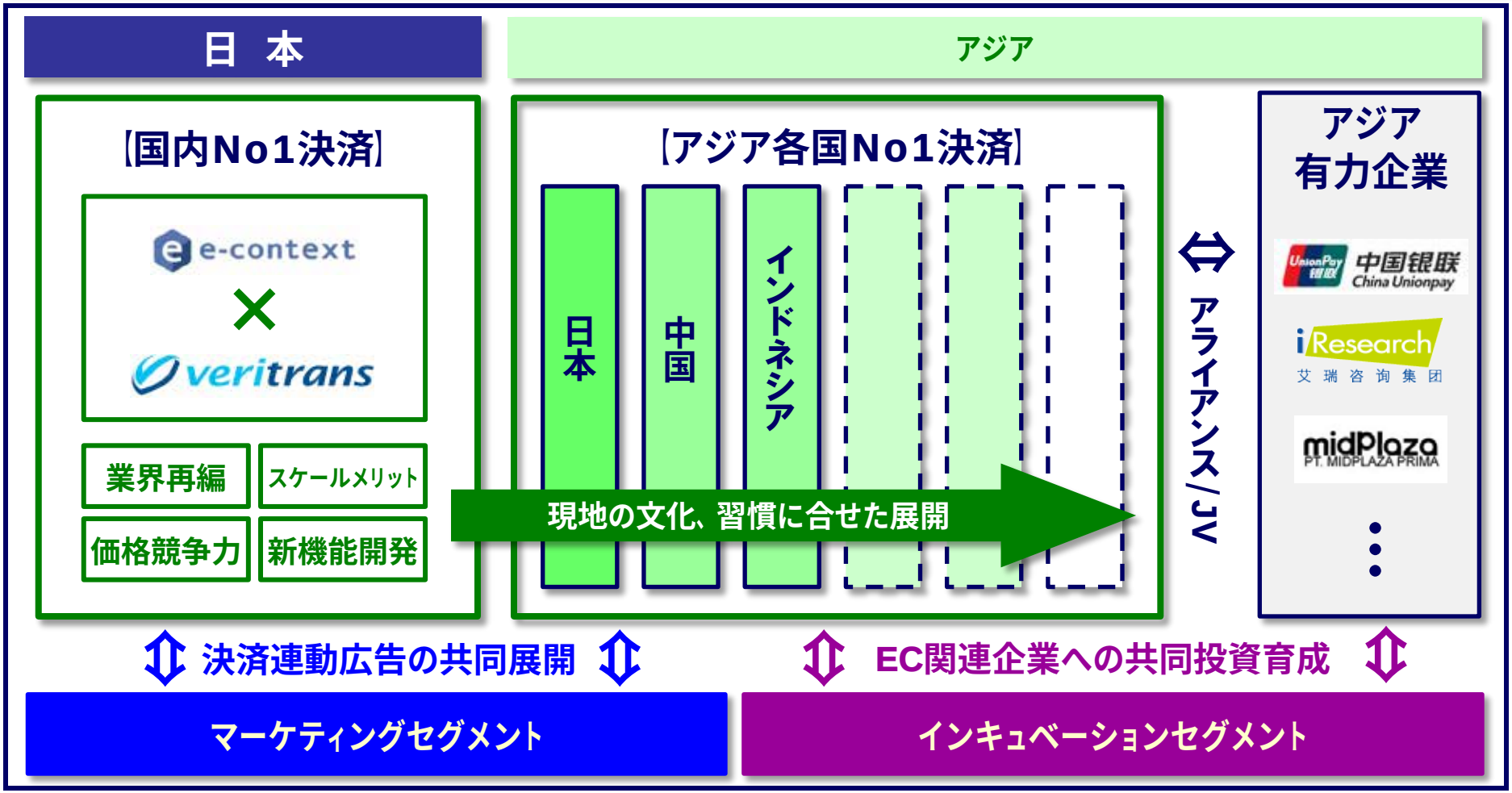
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Ⅲ ペイメントセグメントの中期計画とビジョン

context company

日本の決済プラットフォームを、全アジアのNo1決済プラットフォームへ

国内のNo1ポジションの基盤固めとともに、本事業セグメントのHQを香港に開設。
日本での成功モデルを、成長著しいアジア新興各国に水平展開し、e-コマース市場の発展に貢献する。



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DG新中期3ヵ年計画 / 連結数値目標

context company

経営目標： 2015.6期 EBITDA 100億円（年平均50％超の成長）

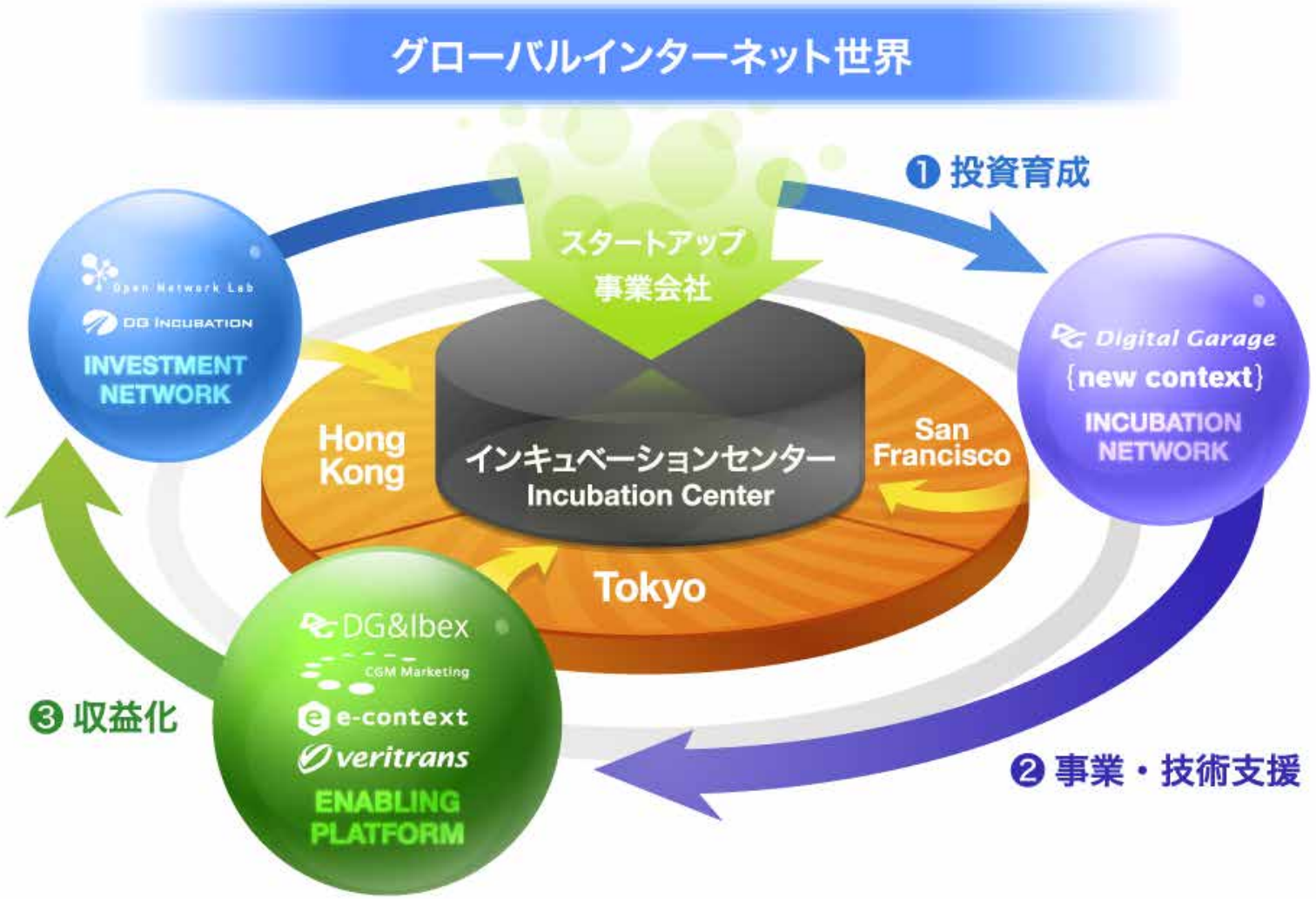
単位：百万円	2012.6期（実績）	2013.6期（計画）	2015.6期（中期目標）	年平均成長率（12.6-15.6）
売上高	**14,903**	**25,000**	**40,000**	**39 %**
インキュベーション	2,620	2,800	7,500	42 %
マーケティング	8,593	9,200	12,500	13 %
ペイメント	3,738	13,000	20,000	75 %
営業利益	**1,621**	**1,650**	**6,500**	**59 %**
インキュベーション	1,465	500	3,500	34 %
マーケティング	511	600	1,500	43 %
ペイメント	546	1,400	3,000	76 %
経常利益	**2,708**	**2,800**	**9,000**	**49 %**
当期純利益	**2,106**	**1,700**	**6,200**	**43 %**
EBITDA	**2,967**	**4,000**	**10,000**	**50 %**

Note: 2012.6期のセグメント売上高および営業利益は簡易試算に基づく

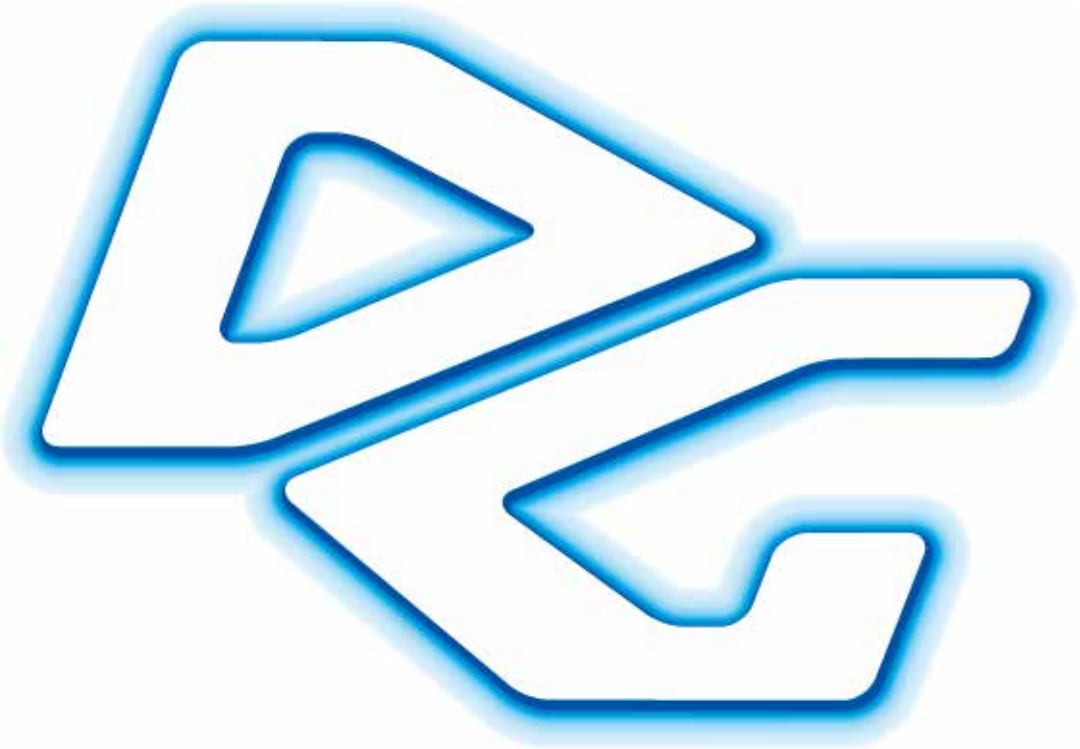
Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グローバル・インキュベーション・エコシステム

継続的に機能するグローバルなインキュベーション・エコシステムの構築へ



Copyright © 2012 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。